

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床医学総論		必修	1	1	集中
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
山本 泰宏	C302	yasuhiro_yamamoto		水曜日 10:40~12:00	
授業の目的・概要	<p>授業の目的：臨床医学の全体像を理解し、その概要を説明できる。</p> <p>授業の概要：一般的に日常の臨床医学は、診察→検査→治療の流れで行われ。各々の作業の理論的背景（なぜそうするのか）を理解し、臨床医学は経験と科学的根拠が入り混じっていることを教員の30年以上の実務経験を例に挙げて実践的な講義を行う。講義はTeamsを利用した同時双方向授業で行う。</p>				
学習上の助言	<p>予習は必要ないので、代わりにしっかりと復習をすること。</p> <p>毎回講義の冒頭で「本日の学習目標」を示す。これが試験問題になる。講義終了後に質問時間を設けるので、講義で理解できなかったことは記憶が新しいその場で質問すること。</p> <p>必要な情報を見つけ出す力を養うため、復習では講義ノート、配布資料の中から「本日の学習目標」に対する解答を探し出す訓練を行なうこと。自主的に解答を作成した学生は、質問時間に添削します。専門用語がたくさん登場するが、一生使用する言葉なので、一つ一つ確実に理解して覚えること。</p>				
教科書	指定しない。毎回資料を配布する。				
参考書	指定しない。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	臨床医学の概念を説明できる。			HSU(1)(2) (4) (6)	
②	臨床医学の方法論を説明できる。			HSU(1)(2) (4) (6)	
③	臨床医学で行われる診察・検査・治療の概要と意義を説明できる。			HSU(1)(2) (4) (6)	
④	診療記録の書き方を説明できる。			HSU(1)(2) (4) (6)	
⑤	医学的専門用語を説明できる。			HSU(1)(2) (4) (6)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	【臨床医学を学ぶために必要な「考え方」と基礎知識を学ぶ。】オリエンテーション。臨床医学とは。	講義 (同時双方向型授業)	講義ノートと配布資料を参考にして「医療の全体像と構造」を説明できるようにする。	4	
2	【健康の基本的概念と疾病に関する科学的な概念を理解する。】疾病、外傷と障害の概念。	講義 (同時双方向型授業)	講義ノートと配布資料を参考にして、「疾病・外傷・障害」について説明できるようにする。	4	
3	【診察の意義、方法、原理について学ぶ。】診察方法の理論1：診察の目的、手順、所見の取り方。	講義 (同時双方向型授業)	講義ノートと配布資料を参考にして、「診察の意義」を説明できるようにする。	4	
4	【生体検査の意義、検査結果の解釈のし方を理解する。】臨床検査1：生体検査 (血液検査、細菌検査、尿検査、便検査、髄液検査、生化学的検査、免疫学的検査)	講義 (同時双方向型授業)	講義ノートと配布資料を参考にして「学習した検査の目的・意義・解釈上の注意」を説明できるようにする。	4	
5	【検査の原理と解釈のし方、意義、適応について理解する。】臨床検査2：生理学的検査 (心電図、脳波、呼吸機能、など) と画像検査 (X線検査、CT検査、MRI検査、超音波検査、内視鏡検査)	講義 (同時双方向型授業)	講義ノートと配布資料を参考にして「学習した検査の目的・意義・解釈上の注意」を説明できるようにする。	4	
6	【各治療方法の特徴、について学ぶ。】治療方法：薬物療法、リハビリテーション、手術療法、クリニカルパス	講義 (同時双方向型授業)	講義ノートと配布資料を参考にして、「治療法の分類と内容」を説明できるようにする。	4	
7	【Problem-oriented system (POS) の思想、意義について学ぶ。】カルテの記載：POS、SOAP。	講義 (同時双方向型授業)	講義ノートと配布資料を参考にして、「POS, SOAP」を説明できるようにする。講義内容の復習	4	
8	8回の講義の総括	講義 (同時双方向型授業)	講義内容の復習	4	
試	定期試験				

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系/旧カリキュラム】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験を行う。講義内容、配布資料から出題する。				試験終了後解答例、講評を掲示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p><b>教員の実務経験：</b> 整形外科医として34年間診療を行っている。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b> 現場での体験をまじえた講義を行う。</p> <p><b>その他：</b> Teamsを使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨します。遠隔授業では、課題のダウンロードや動画視聴などがありますので、通信量に十分に注意してください。 今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性があります。</p>							